

親和銀行跡地の今後の方向性と課題について イノシシ被害対策について

川添議員

(1) 親和銀行跡地は現在解体中である。商店街並びに地区住民の皆様も大歓迎であり、中心市街地の再生に大きな期待を寄せている。平成25年度までに3階までは「(仮称)市民交流プラザ」、4階から12階は「市営アパート」建設の計画である。その間の利用計画について、市民交流プラザと市営アパートを建設すると現在の敷地では駐車場が不足する。高層の機械式立体駐車場は、建設費、運営維持費、使いにくさ等を

考えると難しい。そこで駐車場を広げることを提案する。

(2) イノシシ被害については山間部農民の皆様の悲鳴が聞こえてくる。怖いのは被害が続くので「もう今年は作らない」と耕作放棄地が拡大することである。そうならないためにも、被害防止対策として「捕獲報奨金」の新設を望む。1頭あたり諫早市7,500円、東彼杵町5,000円である。他市平均の6,000円を提案する。周辺住民の熱い声に応えて欲しい。

らつしやるということは切実に感じている。これまで捕獲報奨金が、県下の市では例外的にゼロであったという点について反省しなければならぬ。平成23年度から5,000円は最低限として絶対にやらないといけないと考えているが、それ以上については他の市町の動きを精査しながら、前向きに考えていきたい。まずは5,000円からスタートしたい。

その他の質問事項

- ・三浦保育園問題について
- ・小・中学校における太陽光発電について



親和銀行跡地

子育ては米百俵の精神で!!

松崎議員

(1) 子育て支援について

① 本市の出生数は横ばいで毎年約千人の子どもたちが誕生している。子育て家庭の約8割は核家族で、幼児の3割、学童の8割は家庭保育と次世代育成支援後期計画のアンケートで出ていた。24時間幼児家庭保育にあたっておられる方々の要望の一例として一時保育をもっと安くということもあげられている。どのような支援を考え、計画しているか。

② 国で保育行政の改正が

計画されているが、その問題点などはどうなっているのか? 市として県に要望するべきではないか?

(2) 教育行政について

① 全国学力テストについて、3割抽出というのに本市は全校の小6と中3が参加されたが、どのような考えか。また、今後、教科拡大もいわれているが、どのように考えているか。

② 学級定数の改善で40人が35人へと国で計画がなされているが、本市への影響は?

福祉保健部長(1)

① 保育園における一時保育や親子で交流ができる子育て支援センター、親子がいつでも触れ合えるような地域での交流の場などをさらに充実していかなければならないと考えている。一時保育については自己負担がかかるが、子ども手当などを有効活用するなどして判断していただきたい。また、子育て支援センターでも様々な内

福祉保健部長(2)

① 国の少子化社会対策会議において、「すべての子どもへの良質な成育環境を保障し、子どもを大切に社会に『出産・子育て・就労の希望がかなう社会』『仕事と家庭の両立支援で、充実した生活ができる社会』『新しい雇用の創出と、女性の就業促進で活力ある社会』の実現を目的とし

教育長(2)

② 相当数の学級数が増加することから教室や備品の準備など多額の費用が必要になってくると思う。

その他の質問事項

- ・地縁団体の認可取消について

市長(1) 個人的には、立体

副市長(1) 立体駐車場というのは、あくまでも一つの例であり、どういう駐車場が最も効果的かということは今後考えていきたい。市民交流プラザ利用者用の駐車場の不足については、商店街への回遊が一つの狙いと思っ

市長(2)

イノシシの対策について本議会ですぐに質問があり、今、大村市内の農家の方をはじめとして、非常に困ってい